

百里基地司令 石村 尚久 様

従来通りの正門前集会開催及び、文書の受け取りを基地側に求める申入れ書

百里基地で、米軍再編に伴う日米共同訓練を、2021年12月13日から17日までの期間で行うことが発表されました。

この訓練に対して、12月3日、百里基地反対連絡協議会（略称「百里連協」）を代表する形で、地元の梅沢優さん（百里基地反対同盟）が、電話で「『日米共同訓練』への抗議集会と申入れを、12月13日、午前10時30分から百里基地正門前で行いたいので対応していただきたい」ということを、基地側に連絡しました。集会開催や申入れを行う際は、これまでの慣行として事前に基地側に連絡をしてきたためです。

それに対し、百里基地側はこれまでの基地正門前の駐車場付近ではなく、「基地正門前の道路で行う」という回答をしました。その理由は「8月26日のオスプレイ抗議集会の際にトラブルがあったから」というものでした。

経過を述べれば、これまで私たちは米軍再編に伴う日米共同訓練が2007年10月に実施されて以降、共同訓練が実施されるたびに基地側に連絡・協議しながら「基地内施設での抗議文の提出と受け取り」、あるいは「基地正門前（駐車場側）での集会及び申入れ受け取り」等の行動を長年にわたって行ってきました。

基地側もご承知でしょうが、長年行ってきた私どもが開催してきた集会等は一度のトラブルもなく、整然と行われてきました。

当然ですが、日米共同訓練の実施は、広く市民生活や安全にもかかわる問題であり、防衛省（国の機関）の行為に対して、市民の側が文書等で要請や文書等の申入れ等を行うのは、憲法にも保障された国民の権利といえるものです。

8月26日（木）のオスプレイ抗議集会の際の「トラブル」について

この日の集会も私たちは事前に基地に連絡を入れ、集会と申し入れ書の提出を行いました。しかし、集会が始まる時に突然2人組が現れ、集会参加者をビデオカメラで撮影し、トラブルが発生するように挑発し、集会と申し入れに対する妨害行為を行いました。

基地側もご承知の通り、その2人の行為で集会開始時間が少し遅れましたが、私どもの参加者は誰一人挑発に乗らず、整然と行動しました。

基地側が注意すべきなのは、基地側と連絡して集会を開催した私どもの主催団体ではなく、基地側に何の事前連絡もなく、基地前でマイク音量を出して集会の妨害宣伝を行った2人に対して、「マイク宣伝等の行為は基地側に事前連絡すること」等を求め、注意を促すべきではなかったのかというのが、百里連協としての見解です。

繰り返しますが、これまでも基地側は、基地正門前での集会や宣伝を行う際は、他団体が行動で競合し重ならないように、時間をずらしたりして対応してきました。

基地側が先の集会の時も「トラブル」が発生しないように、これまでと同じように「トラブル防止」の態度を示せば、彼ら2人も基地側の対応に従ったのではないのでしょうか。

つきましては、以上のような事実関係に基づき、百里基地側と私どもの平和団体との経過も踏まえ、下記により申入れを行います。

記

1. 百里基地側と私どもの団体との経過を踏まえ、基地正門前での集会開催と申し入れ等に対しては従来通りの対応を要請します。
2. 集会等の開催にあたっては、基地側がいう「トラブル」等が発生しないよう、基地側の対応を要請します。

私どもの行動に対し、「マイク宣伝」等で集会を妨害する行為があったときは、「トラブル防止」に基地側が努力することを要請します。

以上

2021年12月7日

百里基地反対連絡協議会
百里基地反対同盟
百里弁護団
農民運動茨城県連絡会
茨城県平和委員会
茨城平和擁護県民会議
社民党茨城県連合
日本共産党県委員会
新社会党茨城県本部